

Custom Baby-G



amp japan original

*クラフトマンシップの神髄を注ぎ込んで造られた Baby-G ケース。

1946年、東京三鷹に小さな下請け工場が設立されました。
顕微鏡の部品や歯車を作るその製作所は後にCASIOとして名を知られる事になります。

常に未来を見据えた彼らの目には
従来流通していたクォーツ時計ではなく、
計時機器として使用されていたデジタル時計が映っていました。

1983年。決して壊れる事のない腕時計をコンセプトにG-SHOCKが誕生。
これにより「耐衝撃腕時計」というあらたなジャンルが確率され
G-SHOCKは世界の様々な場所で愛用されるようになりました。

5年後の1988年。Baby-Gの基礎となる「Boys G」が生まれます。
DW-5600の機能を持ちデザインをそのまま小さくしたこの時計は
小型のGシリーズにこだわった作品だと言われています。

そして22年後。
今では様々なデザインのBaby-Gが生み出されており、
皆さん必ず一度は手にした事があるのではないのでしょうか。
一見ポップな雰囲気を漂わせたその中には、
開発者達の並々ならぬ努力、経験、技術が凝縮されています。

今回、そのような時計に
私達の持つ伝統的な手法を組み合わせ作品を作り上げました。

青い針の時計...
丁寧な仕事によって作られた証。
少し光沢を帯びた青は、鉄に焼きを入れる事によってのみ得られる色合いです。
火加減が強過ぎても弱過ぎても決して生まれる事はありません。
この色をサイドのビスに再現してみました。

高い技術を持った職人にのみ為し得る石留め Pave Setting。
フランス語で"石畳"を意味するその名の通り
時計の表面には石が敷き詰められています。

隙間なく留めるためには、
わずか1mmから2mmの間で5サイズにも及ぶ石を入念に選ぶ必要がありました。
その数174個。
さらに1つの石に対して4本ある爪を慎重に倒していきます。

こうして生み出されたカスタムBaby-Gを私達は「持続的価値のあるもの」として
誇りを持ち送り出したいと思います。

Custom Baby-G

10AD-560



silver, cubic zirconia & Baby-G

10AD-561



silver, cubic zirconia & Baby-G

10AD-562



silver, cubic zirconia & Baby-G

*詳細につきましてはお問い合わせ下さい